令和元年度 第３学期 始業式 式辞

おはようございます。そして、新年あけましておめでとうございます。

１４日間の冬休みが終わり、今日から新学期が始まります。私の聞いている範囲では、大きな事故もなく、それぞれが充実した日々を過ごせたのは何よりです。それというのも、２学期の終業式に話した「交通事故防止　５つの行動」などのルールを意識し、みなさん一人一人がしっかりした日々を過ごしたお陰と思います。そして今、当たり前のように、第３学期の始業式が行われることに感謝します。

さて、第３学期は、３年生にとっては一人一人の進路の選択・決定が正念場を迎えます。約２か月後の３月１３日の卒業式には、吹上北中生として誇り高く巣立ってくれることと信じています。

そして、２年生は「三年生を送る会」を立派にやり遂げることで、自分たちが吹上北中をしっかりと受け継いでいく決意を示してくれることを期待しています。

さらに、１年生はスキー教室が今月２８日から３０日までの２泊３日で本番を迎えます。４月から「先輩」と呼ばれる前に一回り大きくなってくれることを期待しています。

３２９名、一人一人が健康と安全に留意し、お互いにますます心を引き締めて、今学期も大いにがんばりましょう。

私は、先日新聞で『忘己利他（もうこりた）』という天台宗の開祖「最澄」の言葉を知りました。

『忘己利他（もうこりた）』とは、自分を忘れて他人のためにつくすことだそうです。「己を忘れて他を利するは、慈悲の究極なり」と最澄は述べています。

昨年、医師の中村　哲さんがアフガニスタンで凶弾に倒れ亡くなりました。

「自分のことを忘れ、他の人々のために尽くす」という『忘己利他（もうこりた）』の精神を体現していた方でした。

また、去年行われたラグビーワールドカップでは日本代表が「ワンチーム」のスローガンの下、勇敢な戦いぶりで日本国中を沸かせ、初のベスト８入りを果たすという明るいニュースもありました。

開催地のひとつ熊谷市を中心に広がったボランティアによる出場国の国歌を歌って迎える「おもてなし」の文化の根底にも、『忘己利他（もうこりた）』の精神が流れていたように思います。

そして、今年、５６年ぶりに東京五輪・パラリンピックが行われます。県内でもサッカー、バスケットボール、ゴルフ、射撃の４競技の会場となっており、皆さんの中にも実際、会場で応援することを楽しみにしている人もいることでしょう。

また、会場以外の駅や街でも、多くの国から日本にやってくる人たちに出会うこともあると思い

ます。

もうこりた
そんな時、『忘己利他』の精神でホスト国の一人として「おもてなし」をしてみて下さい。

私自身も含め、３２９名の全生徒が「あいさつ」「返事」「脱いだ靴を揃える」の３つの実

もうこりた
践行動をはじめ、今回紹介した最澄の『忘己利他』ように、学校でも、地域でも、当たり前のことが当たり前にできる吹上北中生に、今年も成長してくれることを願いつつ、令和元年度第３学期始業式の式辞とします。

令和２年１月８日　　鴻巣市立吹上北中学校長　関根　茂夫